


本市の令和元年度の12歳児一人当たりの平均むし歯本数は1・29本で、全国平均の0・69本、県平均の0・94本に比べ、むし歯の罹患本数が多くなっています。

児童のむし歯罹患本数

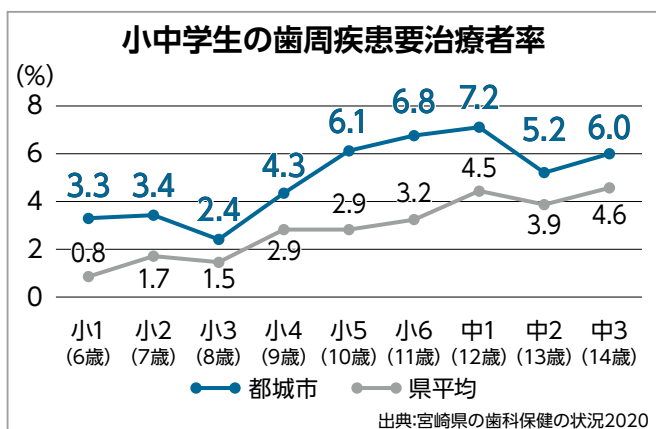


目指せ80歳で20本の歯！

11月8日はいい歯の日

生涯にわたり健康な歯を保つためには、子どものときからのむし歯予防が大切です。今回は、家庭でできるむし歯予防の工夫について紹介します。

◎問い合わせ 学校教育課 ☎2312186



歯周疾患要治療者とは、「歯肉に炎症があり、専門医による診断が必要な人」のことです。本市の小中学生の歯周疾患要治療者率は、県平均より高く、年齢が上がるごとに、要治療者率も高くなる傾向にあります。

児童の歯周疾患要治療者率



○最後に、保護者の皆さんに伝えたいことはありますか？

子どもたちが平等にむし歯予防の恩恵を受けることができる幼稚園・

- ・磨く順番を決めて、磨き残しがないようにしましょう
- ・むし歯予防に効果的なフッ素入りの歯磨剤を使いましょう
- ・おやつは、砂糖控えめのものを決まった時間に食べましょう
- ・歯ブラシは、月に1回程度で交換しましょう

教えて！先生！

～歯医者さんに聞きました～

○むし歯予防、歯周疾患予防のために大切なことは何ですか？

丁寧な歯磨きをすることが大切です。次のことを心掛けましょう。

- ・食後に1日3回、特に夕食後はしっかり磨きましょう
- ・磨く順番を決めて、磨き残しがないようにしましょう
- ・むし歯予防に効果的なフッ素入りの歯磨剤を使いましょう
- ・おやつは、砂糖控えめのものを決まった時間に食べましょう
- ・歯ブラシは、月に1回程度で交換しましょう

topic

むし歯予防の取り組み

市教育委員会では、市内の小・中学校で歯の保健指導や歯磨き指導、歯科検診を実施。平成29年度から、市内小学校のモデル校で、保護者が希望した児童に対し、フッ化物洗口を行っていただきます。フッ化物は、歯の表面を強くし、むし歯菌の働きを弱める効果が期待されます。

保育園、小学校でのフッ化洗口。ぜひ、中学校まで一貫してフッ化洗口を継続してもらいたいと思います。また、子どもたちが一生自分の歯で生活できるように、日ごろの習慣を見直しましょう。

都城歯科医師会 理事
トキワ歯科医院 院長
常盤 健一郎先生